



# 工事請負契約書

発注者.....と

受注者.....株式会社岡伸

とは

(工事名) .....工事

の施工について、次の条項と添付の工事請負契約約款、設計図書（設計図.....枚、仕様書.....冊、現場説明書.....枚、質問回答書.....枚）にもとづいて、工事請負契約を締結する。

1.工事場所 .....

2.工期 着手.....年.....月.....日

完成.....年.....月.....日

引渡日.....年.....月.....日

3.請負代金額 金.....円也

うち 工事価格.....

取引に係る消費税および地方消費税の額.....

4.請負代金の支払 前払いこの契約成立のとき 金.....

完成引き渡しから.....日以内 金.....

5. (1) 部分使用の有無（有・無）(2) 部分引渡の有無（有・無）(3) 仲裁合意の有無（有・無）  
(4) 瑕疵担保責任の履行に関して講ずべき保障契約の締結その他の措置に関する定めの有無  
(有・無) ①この工事が、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」（平成 19 年法律第 66 号）に定める特定住宅建設瑕疵担保責任の対象工事に該当する場合、講ずべき瑕疵担保責任の履行を確保するための資力確保措置の内容（保障金の供託または責任保険契約の締結）は添付別紙のとおりとする。

6.解体工事に要する費用等

この工事が、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成 12 年法律第 104 号）第 9 条第 1 項に規定する対象建設工事に該当する場合、同法第 13 条第 1 項の主務省令で定める事項

については、添付別紙のとおりとする。

7.その他

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

この契約の証として本書 2 通を作り、当事者および保証人が記名押印して、当事者がそれぞれ 1 通を保有する。

.....年.....月.....日

所在地（住所）.....

発注者（氏名）.....

所在地（住所）.....愛知県名古屋市北区辻本通 4-1-4.....

受注者（氏名）.....株式会社岡伸.....

上記工事に關し、発注者との間の契約にもとづいて発注者から管理業務（建築士法第 2 条第 7 項で定める工事管理、ならびに同法第 18 条第 3 項および第 20 条第 3 項で定める工事監理者の業務を含む。）を委託されていることを証するためここに記名押印する。

管理者.....